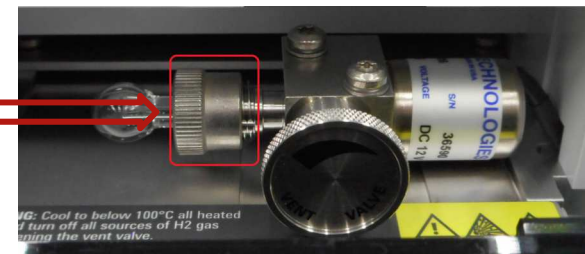


## キャリブレーションサンプル(PFTBA)の補充



PFTBA(Perfluorotributylamine)はEI用の最も一般的なチューニング化合物です。左の赤丸のバイアル内に充填されており、オートチューニング時に使用されます。

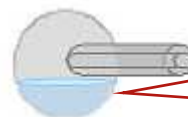
このねじを緩めます。



用意するもの→PFTBA(05971-60571)

### 手順

- 1)チューニングとデータ測定を全て止めます。
- 2)マニュアルチューニングを実行している場合は、MS OFFにします。
- 3)MSDに真空ゲージが付属している場合、ゲージをオフにします。
- 4)アナライザのウィンドウカバーを外します。
- 5)キャリブレーションバイアルのねじを緩めます。ねじを完全には外さないでください。
- 6)キャリブレーションバイアルを引き抜きます。真空状態が残っているため、抵抗を感じる場合があります。
- 7)バイアルにPFTBAを清浄なシリンジかピペットで移します。バイアルが垂直の状態では液体は内部管の端のちょうど真下、サンプルは約70uL入ります。
- 8)キャリブレーションバイアルをバルブまで押し込んだのちに1mm程度戻します。
- 9)ねじを時計回りに回して締めます。ねじは適度に締め、必要以上にきつく締めないでください。ねじを締めるのに、工具を使用しないでください。それほど強い力は必要ありません。
- 10)アナライザの窓カバーを取り付けます。キャリブレーションバイアルに新しいPFTBAを加えたのち、バイアルとバルブから空気を抜く必要があります。チューニングと真空制御(Tune and Vacuum Control)画面の真空(Vacuum)メニューから、校正バルブのパーズ(Purge Calibrant Valve)を選択します。



バイアルを横にしたときに、液面が内部管を超えないようにしてください。